

早期発見で安心つかむ

町では、5月下旬から11月にかけて町内各地域でがん検診を実施します。がん検診でがんを早期に発見し、適切な治療をすることで命を守ることにつながります。

対象のかたは必ず、がん検診を受診しましょう。各検診の日時と会場は『広報ながしま』4月号でお知らせしましたので、ご確認ください。

問い合わせ先
役場町民保健課保健予防係
☎(86)1157[直通]

肺がん検診

肺がんは肺の気管や気管支、肺胞の一部の細胞ががん化したもので、がん細胞や周りの組織を壊しながら増殖し、血液やリンパ液の流れによって転移することがあります。

初期症状が現われず、自覚症状もほとんどないため、発見された時はすでに進行していることが多いです。

○対象

40歳以上の町民

○料金

町が全額負担

○検診方法

胸部レントゲン検査



結核検診

結核は結核菌に感染して発症するもので、国内の患者の約70%が60歳以上のかたです。

初期の結核では、症状のないかたが多く、発症後は集団感染にもつながりますので、検診で早期発見することが重要です。

○対象

65歳以上の町民

○料金

町が全額負担

○検診方法

胸部レントゲン検査

婦人がん検診を実施

昨年は新型コロナウイルス感染症のため2年ぶりの実施になりますので、ぜひ受診しましょう。

大腸がん検診



動物性脂肪の取り過ぎや食物繊維の不足などが原因で、日本人に急速に増えています。患者は50歳代から増え始め、60〜70歳代の高齢者が多く、男女差はほとんどありません。進行が遅く、早期に発見できれば完治の確率は高くなります。

○対象

40歳以上の町民

○料金

町が全額負担

○検診方法

便採血検査を行います。大腸がんやポリープがあると、便に血液が付着します。便が腸内移動時に組織と擦れて血液が付着するもので、わずかな出血も検知できます。

子宮頸がん検診

20歳から30歳代の若年層で子宮頸がんは増加傾向にあります。初期には症状がほとんどなく、自覚症状が現れる頃には病状が進行していることが少なくありません。

子宮頸がん検診を受けることで、がんになる前の細胞の段階で発見できる可能性があります。

○対象

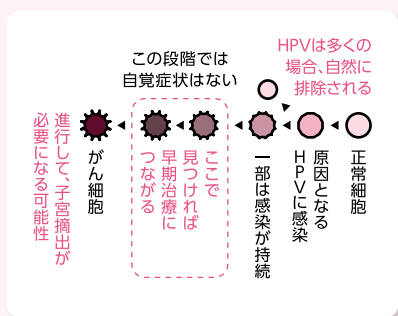
20歳以上の女性

○料金

町が全額負担

○検診方法

ヘラやブラシなどで子宮頸部の細胞をこすり取ります。痛みを感じることは少ないです。



乳がん検診

乳がんは乳房の中にある乳腺につくられるがんで、40歳代後半のかたが発症するケースが多いです。

○対象

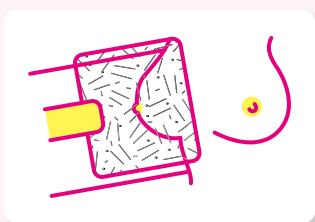
40歳以上の女性

○料金

町が全額負担

○検診方法

マンモグラフィ検査を行います。乳房を圧迫しますので、痛みを感じるかたもいます。



※節目年齢のかたには、医療機関での個別検診もご案内します。